

6. 文化・芸術分野

市では、教育委員会が「第2次船橋市文化振興基本方針」を別途策定していることから、「文化・芸術」分野の事業の推進は、同方針に基づくものとし、第三次一番星プラン（推進計画）においては、分野全体の進捗が図れる指標を別途設定し、管理していきます。

「第2次船橋市文化振興基本方針」

(1) 概要

船橋市文化振興基本方針は、「文化芸術振興基本法」の制定を踏まえ、これまでに培われてきた船橋の文化を未来に引き継ぎ、船橋らしい文化の創造を促進するために策定しました。

(2) 位置づけ

本方針は、船橋市総合計画、船橋市教育大綱及び教育関連計画を推進していくための個別計画の一つです。

(3) 計画期間

令和4年（2022年）度～令和8年（2026年）度

(4) めざすべき姿

市民が文化・芸術に触れ、ふるさと船橋に親しみを感じる状態

あらゆる人々が文化・芸術活動を通じ心豊かに暮らすとともに、船橋のまちに思いを寄せながら自分らしく輝けるよう、幅広い分野とのつながりを意識しながら、必要な施策に取り組みます。

(5) 総合指標

船橋市を「文化が盛んなまち」だと思う市民の割合

【現状値】（令和3年(2021年)度）

40.3%



【目標値】（令和8年(2026年)度）

60.0%

(6) 現状と課題

■現状・強み

市内の各地域に公民館・図書館といった文化振興の拠点となる施設が立地しており、身近な場所で市民主体の文化活動が行われています。市民の活発な文化活動を背景に、かねてより市民・文化団体と行政が連携し、各種文化事業に取り組んでいる実績があります。

そのほか、市内には歴史ある音楽団体が数多くあり、「音楽のまち・ふなばし」を支える活動を続けています。また、小中学校の器楽部や合唱部は全国的なコンクールなどでも活躍しており、学校での音楽活動も盛ん

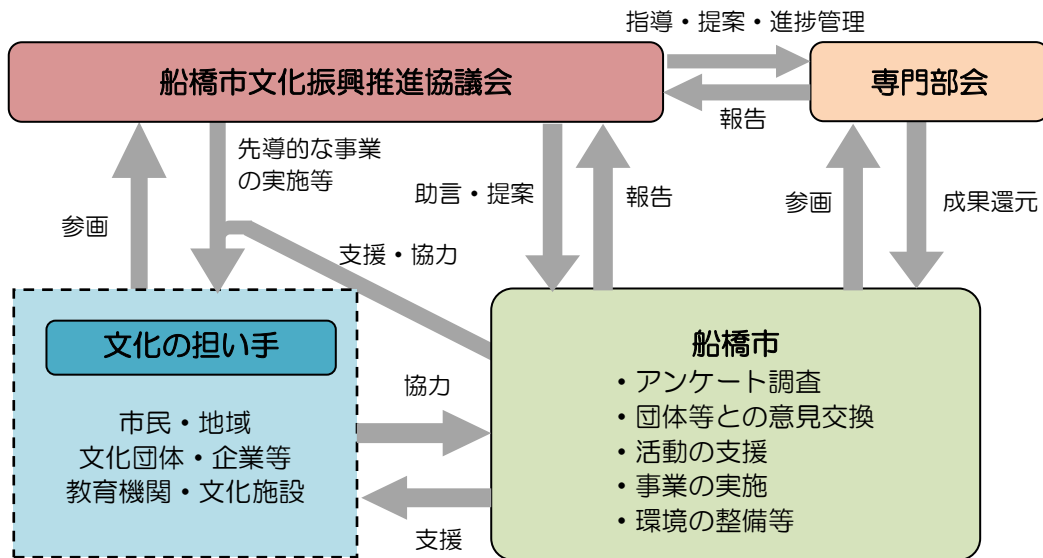
です。

■課題

文化団体の会員、地域の伝統行事・祭事の参加者、文化財の継承者など、文化の担い手の高齢化、減少が進んでいます。また、文化施設やイベント、文化財などについて、まだまだ知られていないものも多く、市内、市外問わず、本市に対して文化的なイメージを持っている人が多いとは言えません。

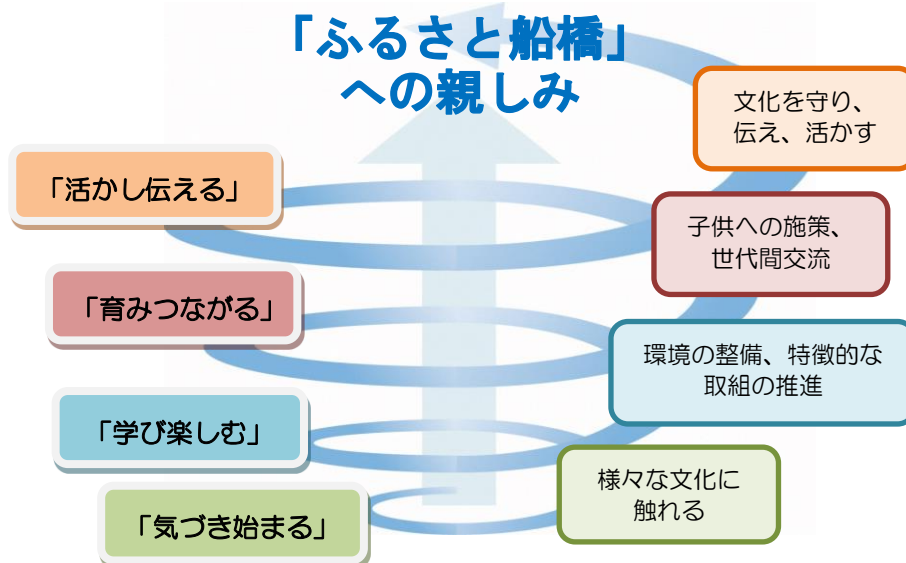
(7) 推進体制

文化振興は行政のみでは推進することができないため、市民をはじめとする文化の担い手の連携・協力が不可欠です。そのため、船橋の文化の特徴や課題を共有し、文化の担い手が一体となって施策に取り組めるよう、市民、企業・団体、専門家等による委員で構成する「船橋市文化振興推進協議会」を設置しています。



(8) 施策の展開

4つの基本目標に沿って幅広い分野とのつながりを意識しながら施策を展開します。



(9) 第三次一番星プラン（推進計画）における指標と方向性

① 市主催事業の参加者数

方向性：↗

② 市文化施設の利用者数

方向性：↗

※コロナ禍で減少した事業への参加者及び施設利用者をコロナ禍前の水準に戻していく。

7. 生涯スポーツ分野

市では、教育委員会が「第二次船橋市生涯スポーツ推進計画」を別途策定していることから、「生涯スポーツ」分野の事業の推進は、同計画に基づくものとし、第三次一番星プラン（推進計画）においては、分野全体の進捗が図れる指標を別途設定し、管理していきます。

「第二次船橋市生涯スポーツ推進計画」

(1) 概要

船橋市生涯スポーツ推進計画は、多様化するスポーツ活動のニーズに対応するため、スポーツ施設や情報発信等の環境及び市民力を活かした指導者の育成や地域住民と連携・協働したスポーツイベントの実施等のスポーツ推進体制の整備・充実を行うことで、市民のスポーツ活動の推進を図ることを目的とするものです。

(2) 位置づけ

本計画は、船橋市総合計画、船橋市教育大綱及び教育関連計画を推進していくための個別計画の一つで、スポーツ基本法に基づき、国の「スポーツ基本計画」及び県の「千葉県体育・スポーツ推進計画」を参酌しています。

(3) 計画期間

令和4年（2022年）度～令和8年（2026年）度

(4) めざすべき姿

現状と課題、スポーツ健康都市宣言や関係する計画等を踏まえ、本市のスポーツ推進における大きな方向性として掲げ、本計画の基本目標となるものです。

市民一人一人が生活の中で気軽に楽しくスポーツを行うことで健康になり、多くの仲間と共に、いきいきと過ごしている状態

(5) 数値目標

スポーツ実施率（週1回以上スポーツを行う18歳以上の割合）の向上

【現状値】（令和元年（2019年）度）

42.2%



【目標値】（令和8年（2026年）度）

70.0%

(6) 現状と課題

■現状

市民力を活かした指導員の育成や、身近な場所でスポーツに親しめる場所の整備、地域でスポーツに親しめるイベントの支援を行い、市民一人一人がスポーツに親しめる環境づくりを行ってきました。

また、プロバスケットボールチーム「千葉ジェッツふなばし」やラグビーチーム「クボタスピアーズ船橋・東京ベイ」と連携した地域交流などに取り組んでいます。

■課題

スポーツの捉え方に関する意識改革、年齢や障害の有無に関わらないパラスポーツの推進、市民が身近な場所ですべて安全安心に活動できる環境の整備、スポーツに関する情報発信の充実、スポーツを支える人材の育成・確保、プロスポーツチーム等との連携の継続が課題です。

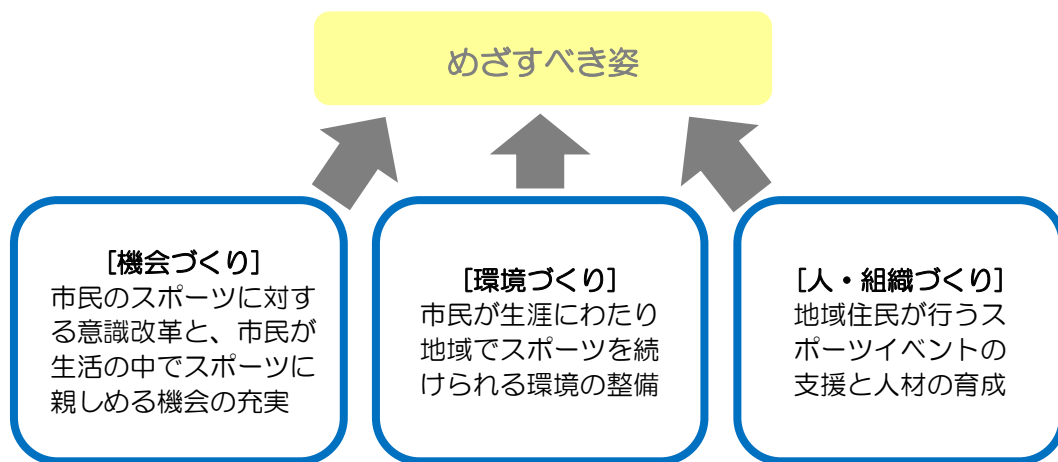
(7) 推進体制

市民をはじめとするスポーツ指導者、スポーツ関係団体、プロスポーツチーム等の様々な主体と連携・協働し、計画を推進します。

また、本計画における各施策を効果的に実施していくために、市民団体、スポーツ関係団体、専門家等による委員で構成する「船橋市スポーツ推進審議会」に計画の進捗状況を報告し、意見聴取を行います。

(8) 施策の展開

課題解決に向けた取り組みを踏まえ、めざすべき姿の実現に向けた3つの施策の方向性に沿い、多様な主体との連携・協働を意識しながら様々な施策を展開します。



(9) 第三次一番星プラン（推進計画）における指標と方向性

